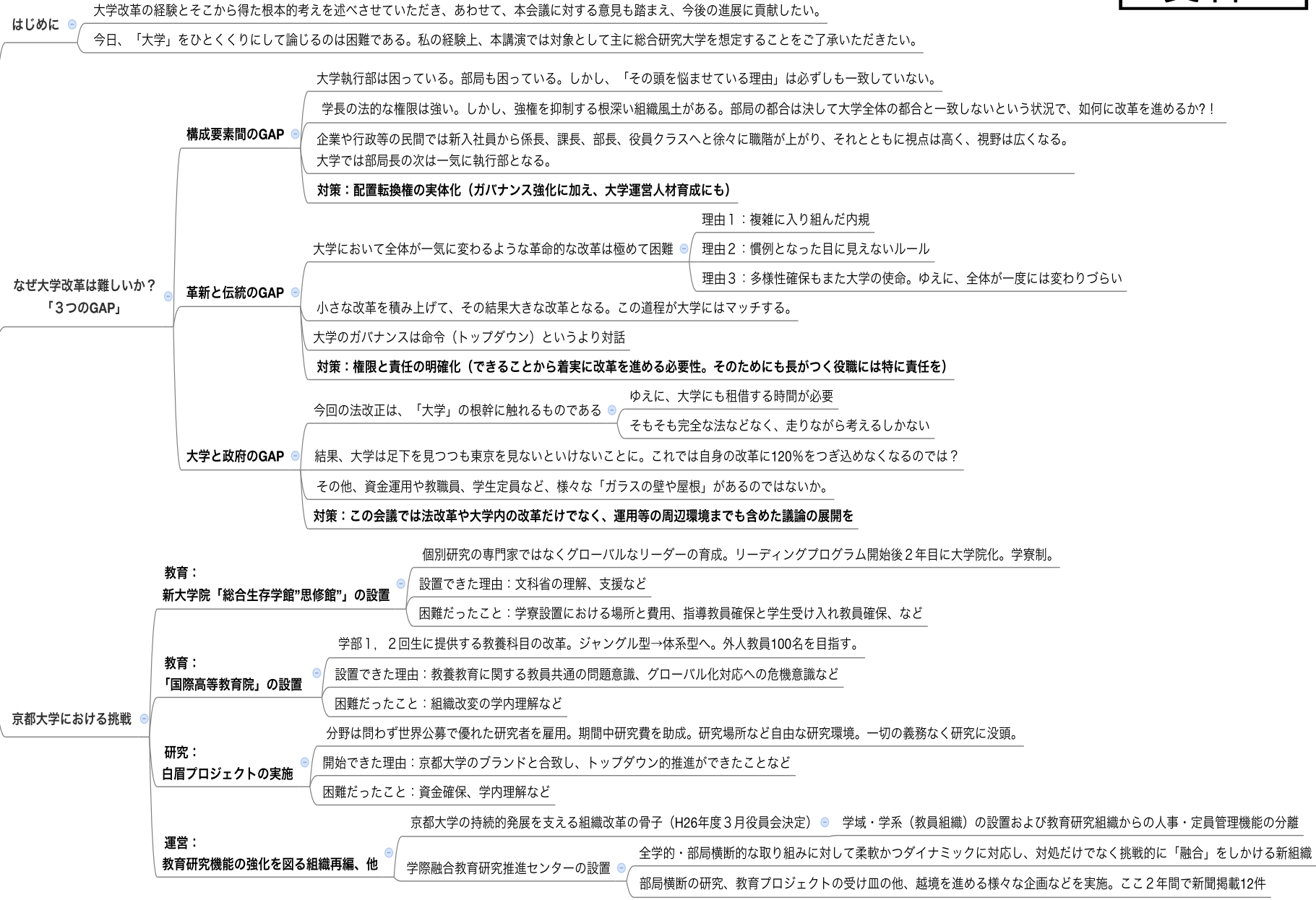


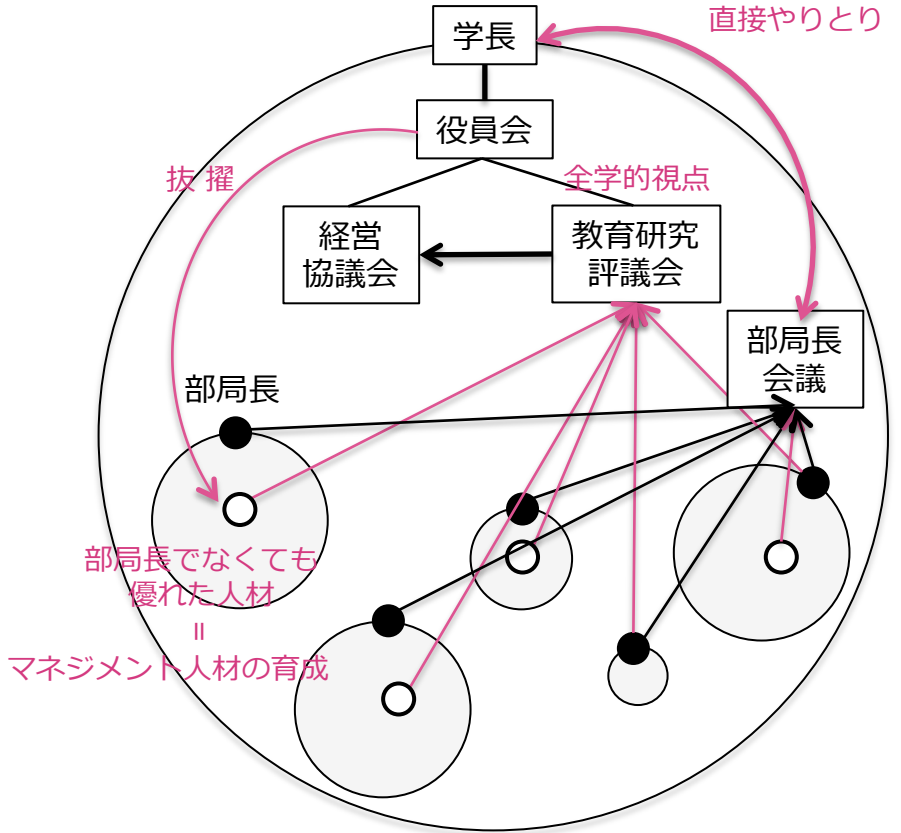
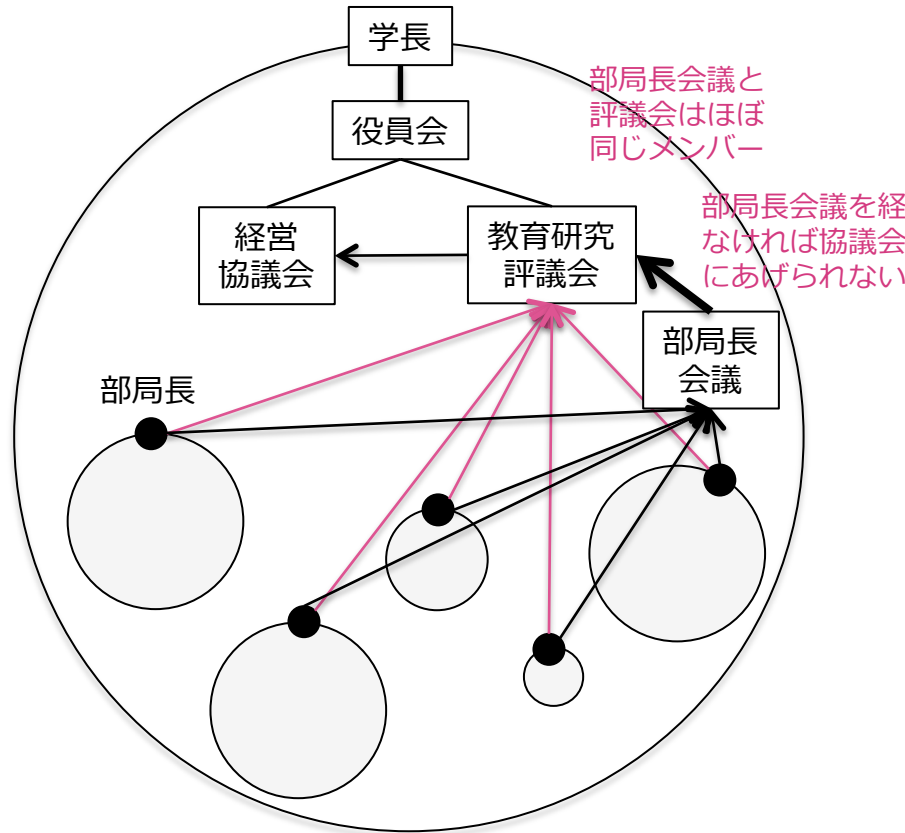
資料4

アジェンダ



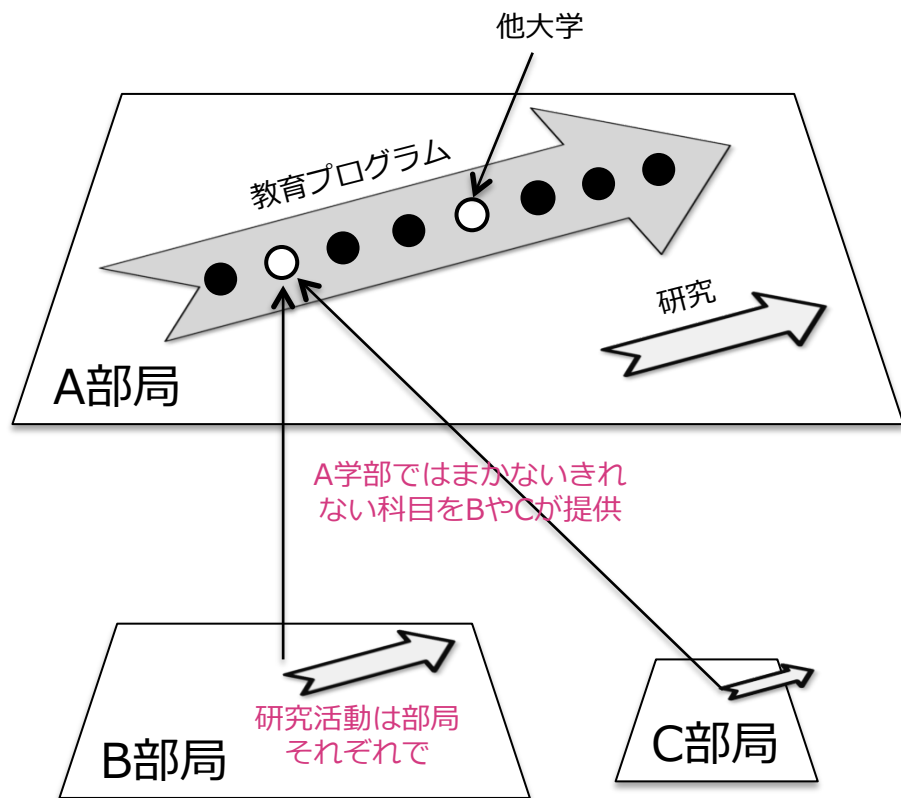
現在

一案



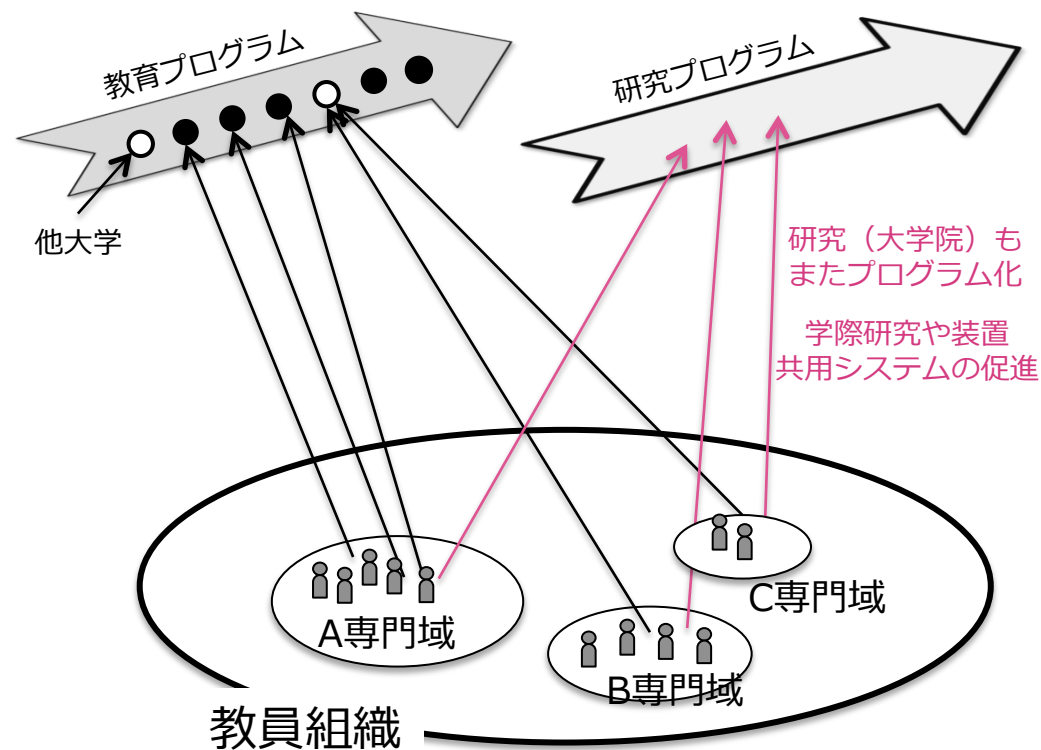
- 権限と責任の明確化
できることから着実に改革を進める必要性。
そのためにも長がつく役職には特に責任を

現在

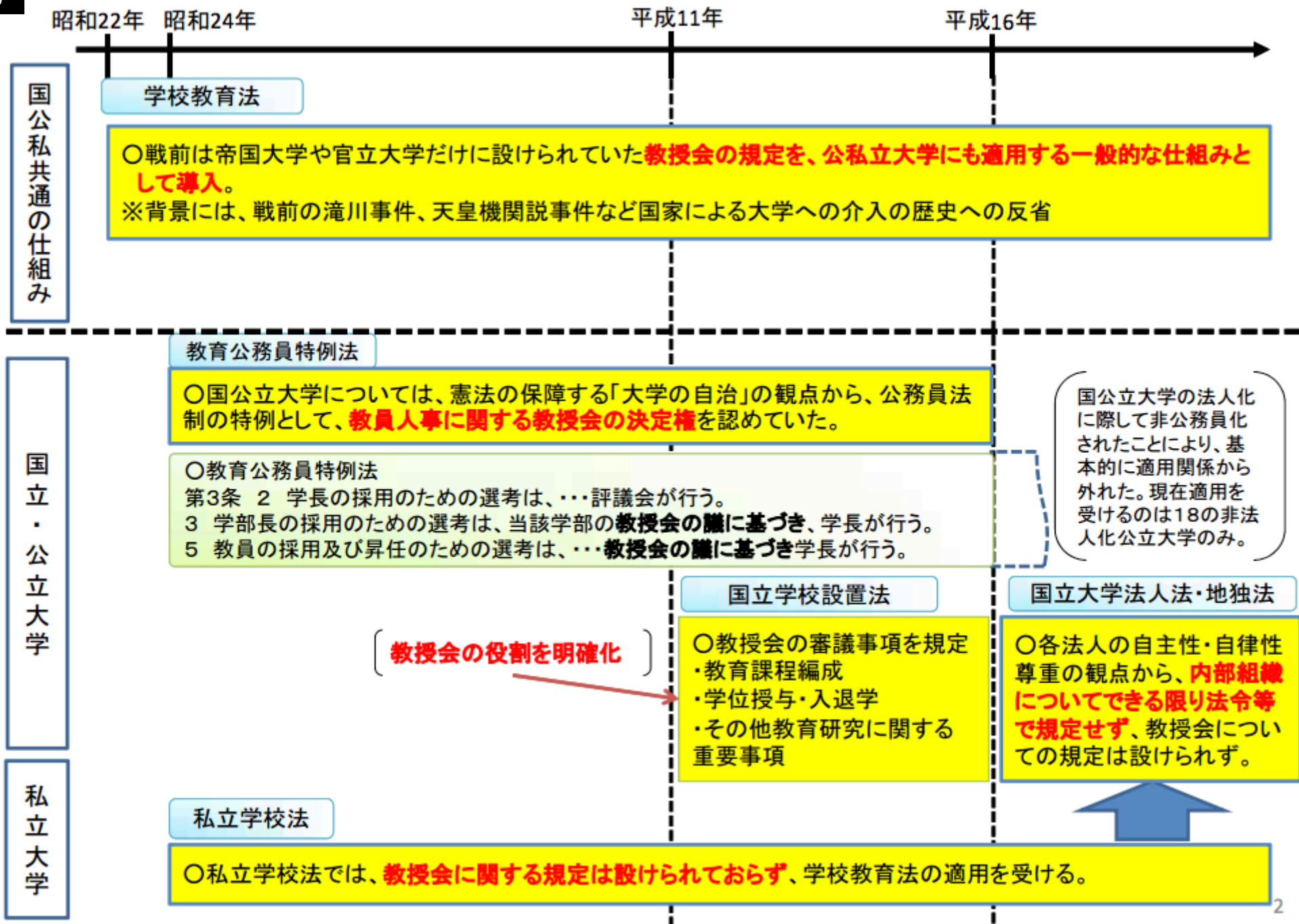


- 学部ありきのプログラムは硬直化のおそれ（作れても無くしにくい等）
- 社会情勢に柔軟に対応困難
- 局所最適（部局利益）を第一優先にしてしまいがち

一案



- 教員は学部に固定ではなく、教員組織に登録
- 柔軟なプログラム構築が可能。惰性でプログラムを残す必要はなく、安心してスクラップ&ビルド
- 配置転換も容易に（専門家の人選・選出は専門家らで選ぶが、部局ではない＝大学全体を考えての配置が可能：選任権は専門家、配置権は執行部）



法令と学内規程の関係

